

55 人権週間の取組

昨年もこの時期に紹介をさせていただきましたが、国連が、1950年(昭和25年)12月4日の第5回総会において、世界人権宣言を採択した12月10日を「人権デー」と定め、これを受けて、日本では、毎年12月4日から12月10日までを「人権週間」と位置づけています。

本校でもこの人権週間にちなんで、近々の朝会で人権に関する話を子どもたちにしています。昨年は「わたしのいもうと」という絵本



を紹介しながら、いじめや人権について考えました。今年は「お母さん、ぼくがうまれてごめんなさい」(向野 幾世)という詩を紹介しました。この詩は、脳性麻痺の山田康文さんという方が、当時の特別支援学校の先生と一緒に、様々な苦労を重ね完成させた一編の詩です。

毎月最初の朝会では、その月に誕生日を迎える子どもたちに「おめでとう」を届けています。これは、生まれてきたことへのお祝いと、あなたの命もあなたの周りの人の命もとても大切だということを伝えたいからです。

子どもたちには前述の詩を紹介する前に、なにかが「できること」もうまく「できないこと」もその人なりの個性だという趣旨の話をし、自分の個性も周りの人の個性も大切にすることが命を大切にすることにつながるというメッセージを届けました。

今週、各クラスでは、「みんなが安心して過ごせる釜小にしよう」という大きなテーマに迫るために、にこにこ人権会議で決まった低・中・高ブロックのテーマに沿って話し合いをもちます。

低ブロックテーマ：「ともだちのよいところを見つけよう」

中ブロックテーマ：「心をこめてあいさつをしよう」

高ブロックテーマ：「相手の気持ちを考えて行動しよう」